

令和 3 年度 東京都立南葛飾高等学校（全日制課程）学校経営計画

1 目指す学校像

本校は、昭和 1 5 年に東京府立第十六高等女学校として創設されて以来、社会に貢献する有為な人材を育成してきた。本校は、「自他の敬愛と協力の精神をもち、変化する社会に対応できる自主性と創造力に富んだ人間の育成」を教育目標に掲げ、教職員一丸となって、次の目指す学校像の実現に向け教育活動を積極的に推進していく。

【目指す学校像】

- (1) 学習環境が整えられ、「学ぶ喜び」を実感できる学校
- (2) 生徒の自主性と創造力を伸ばす学校
- (3) 生徒の学力を向上させ、進路希望を実現する学校
- (4) 地域と協力して、社会貢献のできる学校
- (5) 入学した生徒全員が、本校を母校として卒業できる学校

2 中期的目標と方策

南葛は、生徒一人一人に寄り添い、個に応じたきめ細かな指導で生徒を丁寧に育てることにより、目指す学校像を実現し、教育目標を達成するために次の教育実践を行っていく。

- (1) 一人一人の生徒を最後まであきらめず、丁寧に寄り添う個別指導
- (2) 「わかる喜び」「できる楽しさ」を実感させる、わかりやすい学習指導
- (3) 時間やきまりを守り、規範意識を高め身につけさせる、きめ細かい生活指導
- (4) 自己の在り方や生き方を考えさせ、第一希望進路の実現に向けて努力させる進路指導
- (5) 地域を愛し、地域のために役立つ生徒を育成する特別活動

以上の教育活動について、これまでの到達点をさらに発展させながら「一つ上の目標」「その先の社会」を見据えた実践を、「地域に根差し、未来を育む あたらしい南葛」をスローガンとして行っていく。

3 今年度の取組目標と方策

(1) 学習指導

- 生徒の基礎学力を向上させるとともに、「学び直し」の支援をはじめ、生徒個々が自信をもって確実に学力の伸長を図れるよう、第 1 学年の英語及び第 2 学年の数学において習熟度別授業を実施するとともに、生徒一人一人にきめ細かな学習指導を行うために、第 1 学年の芸術、家庭及び第 2 学年の理科、芸術、英語、家庭において少人数授業を行う。
- 習熟度別授業と少人数授業をはじめ全ての授業において、個々の生徒に応じたきめ細かい授業となっているかを不断に検証していくとともに、主体的で対話的な深い学びを目指した授業実践を目指していく。そのために、若手や中堅教員を中心とした研究授業や、「学びの基盤」プロジェクトに基づく検証授業を積極的に実施し、研究授業後に授業研究協議会を年間 2 回以上行うことで授業力の向上に取り組んでいく。全ての教員が、年 1 回以上他者の授業を見学し、相互の授業改善に努める。

- 東京都教育委員会の「学びの基盤」プロジェクト研究協力校として、「読解力」や「自ら学ぶ力」の向上を目指した教育プログラムを開発するために研究を進めていくとともに、研究成果を本校の学習指導の改善に活かしていく。また、教育課程委員会や教科会を活性化させ、グランドデザインに基づき新学習指導要領に対応する新教育課程編成を完成させ、具体的な指導内容や指導方法を検討していく。
- 適正な授業時数を確保し、意図的・計画的な教育指導を行うために、「学力スタンダード」「年間授業計画」「週ごとの指導計画」に基づいた指導を行う。
- 生徒の学習習慣を定着させるとともに授業への集中力を高めるために、全学年において「朝学習」の取組みを実施する。
- 教員の授業力を向上させ、わかりやすく工夫された授業を実践するために、「学力スタンダード」の取組みや学校評価及び入学者選抜（分割前期募集）の結果等を活用して授業改善に役立てるとともに、教室をはじめ、自宅学習時においてもわかりやすい学びを保障し、その質を保てるようデジタル化の推進、ICT機器の一層の活用を図る。
- 日本語の指導が必要な外国人生徒が、日常生活や学習活動に支障をきたさないよう全ての教員が取り組み、明海大学との「教育連携に関する協定」を活用した、教員向け研修や日本語指導支援、交流会、J-T E S Tや日本語能力試験2級取得を目指した講座等による日本語個別指導の充実を図るとともに、「多文化共生コーディネーター事業」を活用した支援体制を構築し、在京外国人生徒支援委員会と学年、進路指導部との連携を一層深めることにより、在京生徒の充実した学校生活や第一希望進路実現を支援していく。
- 生徒の道徳性を養い、価値観を高めるとともに、生徒が自ら課題を設定しそれを解決していくことでよりよい生き方を主体的に選択し行動する力を育成するために、東京都独自の教科「人間と社会」のこれまでの成果を活かし、「総合的な探究の時間」において、探究的な学習活動を推進していく。
- 生徒の言語に関する関心や意欲を高めさせ、生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実するために、学校図書館の活用やビブリオバトル校内予選等の行事を充実させる。
- 社会の変化に対応できるようにするため、葛飾区等の関係諸機関と連携し、主権者教育、オリンピック・パラリンピック教育、消費者教育等を推進する。
- 通級による指導の実施に向けた校内体制を構築し、配慮の必要な生徒等への学習支援を推進する。

## (2) 進路指導

- 生徒一人一人が自分の可能性を限定せずに高い進路目標をもち到達を目指すよう支援し、進路決定率を高めるために、進路指導部及びホームルーム担任が連携し、進学指導及び就職指導を組織的・継続的に実施する。
- 生徒の進路希望に応じた支援を行うために、進路面談指導を定期的の実施するとともに、大学、ハローワーク、経済団体等の関係機関と連携し、担当職員等を講師として招いた進路ガイダンス等の進路行事を実施する。
- 生徒が自己の適性を理解したうえで自主的に進路を考え、主体的に将来の進路を選択決定するとともに社会に適応できる力を育むために、自校作成の進路指導資料「自己の進路を考えるために」や「入社試験の概要」を活用しキャリア教育の一層の充実を図る。
- 生徒に望ましい勤労観、職業観を育成するため、「総合的な探究の時間」等において、関係機関と連携し、介護体験、保育体験、地域連携行事体験活動やボランティア活動を取り入れたり、NPO法人等の協力によるワークショッププログラム等を行ったりして、3年間を見通した進路啓発を積極的に推進していく。
- 大学や看護医療系専門学校進学希望者及び公務員就職希望者の学習習慣の定着と学力の向上により、

学習成果を活用した進路第一希望の実現に向けて、土曜講習や模擬試験等の活用を充実していくとともに、放課後自習室において教員が生徒の自主学習支援を行う「南葛スタディーサポート・フォーキャリア〔南葛SSC〕」を継続して実施する。

- 生徒の学習意欲と進路決定率を高めるために、教科を中心として、英語検定や漢字検定などの資格取得に向けた指導を実施する。
- 進路意識の啓発と学部学科選択や進学資金に関する情報を生徒、保護者に対する確に提供するために、本校独自の進路指導資料「自己の進路を考えるために」や「進路ニュース」を発行するとともに、PTAと連携して保護者が生徒と共に考える機会を増やしていく。
- 生徒一人一人の就職の機会均等を保障するため、就職差別問題に対しては毅然とした姿勢で臨むとともに、教育庁やハローワーク、東京労働局等関係機関と連携し、組織的な対応を行う。

### (3) 生活指導

- 規則正しい生活習慣を確立させ学習に集中する姿勢を育むため、遅刻指導、服装指導、頭髪指導等の日常の生活指導全般について生徒や保護者の理解と協力を得ながら、立番指導や校舎内外の巡回指導等を徹底するなど、全教職員が統一した基準で組織的に取り組む。また、盗難被害を防ぐために、貴重品管理の指導を徹底するとともに校内巡回を実施する。
- 生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、いじめや暴力等を断固許さない指導を徹底し、いじめに関するアンケート調査を年間3回以上実施して早期発見に努めるとともに、発見時には速やかに組織的な対応を行う。
- 生徒全員が、明るく前向きな気持ちでけじめのある学校生活を送るよう、挨拶指導を行う。特に、授業規律の確立と気持ちを切り替えて学習に集中する姿勢を育むため、授業開始時と終了時の挨拶指導を徹底する。
- 危険を予測し回避する能力と他者や社会の安全に貢献できる資質や能力を育てるために、交通安全、生活安全、災害安全指導を強化し、警察署、消防署、葛飾区役所等関係機関と連携しながら、有識者を招いたセーフティー教室、避難訓練、宿泊防災訓練等を実施する。特に、自転車の法令順守を中心とした交通安全指導を徹底していく。
- 不登校、中途退学、卒業時進路未決定の生徒への対応を充実させるため、東京都教育委員会の「自立支援チーム」と連携し、ユースソーシャルワーカー（YSW）による就労支援や福祉支援等を有効に活用するとともに、生徒の実態を十分に把握し学校全体として組織的に対応していく。また、YSWを従来のカウンセリングだけでなく、就職者の面談指導等に活用していく。

### (4) 特別活動・部活動

- 生徒がルールやマナーを守り、相手の立場を踏まえた適切なコミュニケーションができるよう、全校集会等における整列指導や話を聞く態度の指導を徹底する。
- 生徒の学校やホームルームへの帰属意識を高め、自主性を育成し、集団における自己の在り方を確立するために、ホームルーム活動、生徒会活動、各種委員会活動を活性化するとともに、「体育祭」「南葛祭（文化祭）」等の学校行事を充実させる。
- 生徒にスポーツ、文化に親しませ、豊かな人間関係を育むとともに、生徒の自主性や創造力を伸長するために、部活動への加入を促進し、活動の一層の活性化を図る。
- 地域を大切に思い、地域の人々から学ぶ姿勢をもつ生徒を育成するために、関係諸機関と連携し、部活動単位で参加するボランティア活動や地域行事に積極的に参加させる。

#### (5) 健康づくり指導

- 生徒の心と身体の健康を維持・増進するために、養護教諭が中心となって、ホームルーム担任や学校医と連携し、生徒の実態を踏まえた「学校保健計画」を作成する。
- 生徒一人一人の問題行動の未然防止や生活状況を的確に把握するため、ホームルーム担任とスクールカウンセラーが連携し、面談指導等の教育相談体制を充実させる。また、命の大切さの指導等を行うことにより、自殺予防等に関する取組を徹底していく。
- 生徒の基本的な生活習慣を確立させるとともに心身の自己管理能力を高めるために、保健体育科の授業や部活動等において体力の向上を図るとともに、家庭と十分に連携し食育及び健康教育を推進する。
- 生徒への指導の徹底や検温の実施、校内の消毒作業などの新型コロナウイルスの感染予防対策を徹底して学校のクラスター化を防ぎ、生徒の健康と安全を保持できるよう努める。
- 医療的ケアが必要な生徒を支援する校内体制を確立し、生徒が安全に学校生活を送ることができるよう校内環境を整備する。

#### (6) 生徒募集・広報活動

- 本校を志望する中学生とその保護者が本校に関する的確な情報を得られるよう、学校説明会や中学校訪問、各種説明会等の生徒募集活動を積極的に行うとともに、授業公開や学校見学会の機会には、来校者に丁寧な広報活動を推進する。また、夏季休業中の学校見学会や学校説明会を充実し応募倍率の増加を目指す。特に、在京外国人生徒募集枠を希望する生徒・保護者対象の説明会を充実するなど募集活動を強化・充実させていく。
- 中学校や学習塾を積極的に訪問し、近隣学習塾指導者対象の説明会を実施するなど、受検に向けて学力向上に努めている志望者の獲得を目指す。
- 本校の特色ある教育活動をPRするために、学校ホームページによる情報の発信を充実させる。

#### (7) 学校経営・組織体制

- 組織的・自律的な学校運営を適正に推進するために、企画調整会議と教科主任会議（教育課程委員会）を中心とした学校運営を行うとともに、経営企画室の学校経営参画を積極的に推進する。
- 学校運営の成果と課題を把握するため、学校評価等における意見や感想を集計分析し、学校運営の改善に資する資料とする。
- 保護者や地域との連携・協力を図るため、授業公開、保護者会、学校行事等の公開の機会を活用し、開かれた学校運営を一層推進する。
- 教員の資質・能力を向上させ、実践的指導力のある教員を育成するため、「東京都教員人材育成基本方針」及び「OJTガイドライン」に基づき人材育成を一層推進していく。特に、新規採用教員をはじめとする3年未満の教員については、「東京都若手教員育成研修」を中心に、校内における組織的・計画的な人材育成を行っていく。
- 服務事故や体罰、個人情報の紛失等の事故の発生により、生徒、保護者、都民の信頼を損なうことのないよう、服務事故防止研修を実施し、服務事故と体罰の根絶に努める。
- 大規模災害に対応するために、避難誘導等の体制を準備するとともに、関係諸機関と連携し、生徒の安全確保を最優先した防災対策を構築する。
- 「ライフ・ワーク・バランス」の推進について、「学校における働き方改革推進プラン」に基づき、長時間勤務の是正と教職員の意識改革を図るよう努めていく。特に今年度は教職員各自が「my定時退庁日」を設定し、月1回以上の定時退庁を心掛ける。また、業務の効率化や会議時間の縮減に向けた取組を継続していく。

4 今年度重点目標における数値目標

(1) 生徒の基礎学力を定着させ自信をつけさせるよう、学習指導を充実する。

【学習指導の工夫改善による充実】

▼ 数値目標

項 目	31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標
学校評価アンケートで「習熟度別授業や少人数制授業が学習内容の理解につながっている」とする生徒の割合	85.2%	90.0%	90%以上
学校評価アンケートで「本校の授業は全体を通じてわかりやすく工夫されている」とする生徒の割合	80.6%	87.6%	85%以上

(アンケートの数値は「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した生徒の割合)

(2) 生徒一人一人の希望進路実現のために、きめ細かな進路指導を行う。

【進路指導の充実による第一希望進路の実現】

▼ 数値目標

項 目	31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標
卒業時の進路決定率	86.9%	94.4%	90%以上
学校評価アンケートで「進路学習や進路指導が進路選択の参考になった」とする生徒の割合	84.2%	88.6%	85%以上
大学・短大への進路決定率	29.6%	33.8%	35%以上

(アンケートの数値は「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した生徒の割合)

(3) 不登校・中途退学を未然防止するために、個別相談機能を充実する。

【個別教育相談機能の充実】

▼ 数値目標

項 目	31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標
第1学年から第2学年に進級した生徒の割合	96.2%	98.7%	95%以上
学校評価アンケートで「教員は相談に親身に対応している」とする生徒の割合	79.6%	85.1%	85%以上

(アンケートの数値は「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した生徒の割合)

(4) 落ち着いた学習環境を確立するために、きめ細かい生活指導を徹底する。

【きめ細かい生活指導の徹底】

▼ 数値目標

項 目	31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標
学校評価アンケートで「時間を守ることに積極的に取り組んでいる」とする生徒の割合	86.9%	89.0%	90%以上
学校評価アンケートで「身だしなみに関することに積極的に取り組んでいる」とする生徒の割合	91.4%	92.1%	92%以上

(アンケートの数値は「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した生徒の割合)

(5) 部活動の振興、学校行事の充実で生徒の学校生活の満足度を向上させる。

【部活動及び学校行事の充実による学校生活満足度の向上】

▼ 数値目標

項 目	31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標
生徒の部活動加入率	62.0%	60.0%	65%以上
学校評価アンケートで「学校生活が楽しく充実している」とする生徒の割合	87.4%	90.7%	90%以上
学校評価アンケートで「今年度の体育祭が満足できた」とする生徒の割合	68.9%	(実施せず)	75%以上
学校評価アンケートで「今年度の南葛祭が満足できた」とする生徒の割合	83.9%	(実施せず)	85%以上
学校評価アンケートで「本校での生徒会活動や部活動は充実している」とする生徒の割合	74.8%	81.1%	80%以上

(アンケートの数値は「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した生徒の割合)

(6) 入学者選抜応募倍率の増加を図るため、広報活動・募集活動を積極的に行う。

【生徒募集活動の活性化】

▼ 数値目標

項 目	31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標
都中学校長会進路対策委員会による志望予定(第1志望)調査の志望予定者数	男子157名 女子144名	男子149名 女子127名	男子150名 女子150名
学校公開、学校説明会、個別相談会、学校見学会での来校中学生・保護者のべ数	中学生 975名 保護者 923名	中学生 685名 保護者 643名	中学生800名 保護者750名
都立学校等合同説明会等校外での相談中学生・保護者のべ数	中学生 174名 保護者 174名	中学生 10名 保護者 10名	中学生 100名 保護者 100名

以 上